

# 安全報告書（平成28年度）

## 大鱈温泉スキー場



第90回全日本学生スキー選手権大会開催（2017 2/19～24）

## 東洋建物管理株式会社

## はじめに

お客様にご利用いただきましたスキー場のリフトは、鉄道事業法に基づいて運行しています。

お客様に安全・安心を提供するために、弊社では従業員に対して今後も教育・訓練を実施して安全輸送に努めてまいります。

## 安全確保の基本方針

輸送の安全確保が事業運営の必須条件であることを認識し、事業活動を行う体制の整備に努めるとともに、索道施設及び社員を総合活用して輸送の安全を確保するための基本方針を定め、安全第一の意識を持って、安全に関する声に真摯に耳を傾けるなど、安全に関わる行動規範を理解し、安全確保に努めてまいります。

- (1) 一致団結して輸送の安全確保に努めること。
- (2) 輸送の安全に関する法令及び関連する規定をよく理解するとともにこれを厳守し、厳正、忠実に職務を遂行すること。
- (3) 常に輸送の安全に関する状況を理解するよう努めること。
- (4) 職務の実施にあたり、推測に頼らず確認の励行に努め、疑義のあるときは最も安全と思われる取り扱いをすること。
- (5) 事故・災害が発生したときは、人命救助を最優先に行動し、すみやかに安全適切な処置をすること。
- (6) 情報は漏れなく迅速かつ正確に伝え、透明性を確保すること。

## 事故の発生状況とその再発防止措置

- (1) 索道運転事故（索道人身傷害事故）  
索道運転事故はありません。
- (2) 災害（地震・暴風雨・豪雪など）  
災害等により運行の停止はありません。
- (3) インシデント（事故の兆候）  
国土交通省へのインシデント報告はありません。
- (4) ヒヤリハット（ひやっとした、はっとした）  
平成29年1月18日（水）午後2時40分頃、国際ファミリーリフトの脱索保安装置が働きリフトが停止しました。保安装置を確認したところ脱索はなく、保安装置の繋ぎ目に不具合が出ている可能性があったため、速やかに修繕を実施したところ、正常な運転を確保できました。このことを国土交通省東北運輸局へ報告いたしました。

## 輸送の安全確保のための取り組み

### (1) 人材育成

弊社では、輸送や皆様の安全に役立つよう、シーズン営業開始前に施設及び取扱について安全教育を実施しています。

### (2) 緊急時対応訓練

毎年、シーズン営業開始前に索道従事者一同にて、救助訓練を実施しています。

### (3) 索道設備の整備点検

索道設備のシーズン営業開始前の整備点検及びシーズン営業中の検査・点検を実施しています。



救助する側と救助される側に分かれて互いに実地訓練を行い、作業手順を再確認しました。



予備原動機運転取扱いを実施しました。



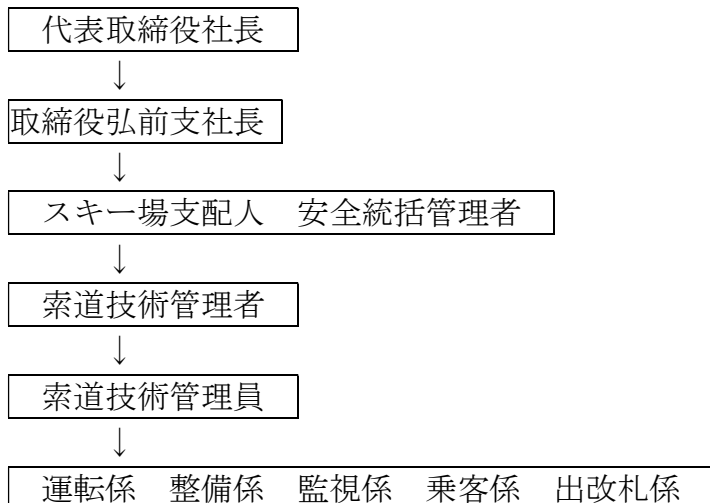
スノーボードで負傷者搬送訓練を実施しました。



支社長の訓示及び全体安全教育講習を実施しました。

## 弊社の安全管理体制

代表取締役社長をトップとする安全管理組織を構築し、各責任者の責務を明確にしています。



|         |  |
|---------|--|
| 代表取締役社長 | 輸送の安全確保に関する最終的な責任を負う。                                |
| 安全統括管理者 | 索道事業の輸送の確保に関する業務を統括する。                               |
| 索道技術管理者 | 安全統括管理者の指揮の下、索道の運行管理、索道施設の保守管理、その他技術上の事項に関する業務を統括する。 |
| 索道技術管理員 | 索道技術管理者の下、索道技術管理者の行う業務を補助する。                         |

## 利用者の皆様の連携とお願い

### (1) お客様の声を形にします。

より安全で信頼される索道を作るため、皆様からお寄せいただいた声を役立てます。

### (2) ゲレンデ内の注意事項とお願い

スキーはもともと雪山の中で大自然とともに楽しむスポーツですから、その中には事故につながる恐れのある要素が多くあります。

表示のある無しにかかわらず、スキー場の状況をよく判断し、事故を起こさないよう注意して滑走してください。

当スキー場では、皆さまの安全を守るために常に勤めていますが、安全のために大切なのは何よりもまずスキーヤー、スノーボーダーの皆さまの注意深い行動であることを忘れないでください。

### (3) リフト乗降時の注意事項

- 1) スキーヤーはストックが隣の人に迷惑にならないように注意してください。
- 2) スノーボーダーを装着して乗車するときはハイバックをたたんでください。
- 3) 乗降場では係員の指示に従ってください。
- 4) リフトに乗るときに不安がある方はお気軽に係員まで声をかけてください。
- 5) リフトに衣類、携行品、髪の毛などが引っかからないようご注意ください。
- 6) リフト乗車中は次のことをしないでください。
  - ① イスを揺らすこと。
  - ② イスから飛び降りること。
  - ③ イスの上でふざけたり、後ろを向いたりすること。
  - ④ スtockなどで柱や雪をたたいたり、さわったりすること。
- 7) 乗っているリフトから空き缶、たばこ、その他の物を投げ捨てないでください。
- 8) 降り場でイスから降りたら、後ろから来る人の邪魔にならないよう、すぐにゲレンデへ進んでください。
- 9) リフト乗車中にリフトが急に止まっても、イスに座ったままお待ちください。係員がすぐに対応いたします。
- 10) 係員が安全にご乗車いただけないと判断したときは、乗車をお断りする場合があります。



### ご連絡先

安全報告書へのご感想、弊社の安全への取り組みに対するご感想をお寄せください。

〒038-0221

青森県南津軽郡大鰐町大字虹貝字清川48-1

TEL 0172-49-1023

FAX 0172-47-5582

E-mail [info@owani-ski.com](mailto:info@owani-ski.com)